

小島敦子・真崎淳子 (ホワイト)

二日続きの風の強い中、どうなることやらと覚悟はしていたもののこれ程打てないとは、力のないのがくぜん、とは言えこれは相手チームにしても同じことと、とにかくがんばろうと励ましあって一戦、又、一戦……

優勝できるとは思ってもいなかっただけに決った時の嬉しかったこと、これも風のおかげで相手チームの人が思うようにプレーできなかったことと今度は風の神に感謝、感謝。それにいつも練習をつけて下さる小川コーチとクラブの皆さん、ほんとうにありがとう、来年はBクラスの人たちとの試合、恥ずかしくないように戦えるよう、がんばります。女子テニス連盟の皆さんよろしくお願いします。



### MMC 桑名杯大会に参加して

(アンケート回答より一顧不同一)

☆日頃の練習時間の少なさをつくづくと感じました。また、上級者の素晴らしいプレーに感激致しました。

☆試合運びがスムーズで良かった。

☆コンソレの時の組合せは1,2回戦で本戦の時と同じペアに当たらないようにして欲しい。

☆役員の方に毎年お世話をして頂いて感謝致しております。

☆毎年、楽しみにしております。他のクラブの人と試合をすることで色々なことを学ぶ取ることができます。これからもぜひ続けて欲しいと思います。

☆一年、一年全体のレベルが高くなっているように思いました。

☆一回楽しく参加できて喜んでおります。

☆コンソレは初回戦敗者のみ出場できるようにして欲しい。組合せをくじで決めると同一クラブで対戦する可能性があるのでその時の対策を考えてほしい。

☆各レベルの出場者をよくチェックして欲しい。

☆今回は服装がまちまちでしたので次回から白に統一した方がいいと思います。

☆試合中に隣のコートへボールを拾いにいく人を見受けられました。

☆開会式後の待ち時間が長かった。

☆テニス歴は一年半位ですが何事も経験を積み自信をつけていくことだと言われ、出場でさせて頂きました。楽しむつもりでがんばったらベスト8に残り、吃驚しています。☆出場チームが多くて大きな試合だなと思いました。

☆審判をして下さる方が声が小さくて聞こえなくてとまどうことが何回かあったので指導を徹底して欲しい。

☆試合の始る前の練習を時間がないといっても2~3分は取って欲しかった。



# つばき便り

NO. 8

日本女子テニス連盟長崎県支部会報 昭和61年 7月 8日  
発行：長崎市千歳町17-6 松尾方 (TEL47-5896)



「つばき便り」第8号は6月中に発行の予定でしたが、諸般の事情で遅れてしまいました。お詫び致します。この号は例年通り、「MMC桑名杯大会」の特集とします。今回は優勝者の声と共に各クラブから寄せて頂きましたこの大会に対する声も掲載することにしました。また、大会終了後に各クラブからアンケートに回答を寄せて頂きましたものを別表のようにまとめてみました。お互いのクラブ同士で練習会とか交歓試合などを計画されてはいかがでしょう？



## MMC 桑名杯

### フレッシュレディステニス'86




#### あじさい

8 ↑ 5	8 ↑ 5
6	6
11. 小島・真崎(ホワイト)	中村・本山(佐世保ウエスト) 30.
8	4
12. 山口・梶原(早岐ロイヤル)	出口・竹野下(三姉妹) 35.

#### つばき

2 ↑ 8	2 ↑ 8
9	9
7. 林・荒川(ダイヤモンド)	加茂・坂口(諫早グリーン) 22.
9	4
8. 伊福・堀(親和レディース)	飯盛・隅田(ダイヤモンド) 29.

#### さくら

8 ↑ 5	8 ↑ 5
6	6
2. 加治屋・山下(スマッシュ)	得能・境(トレディア) 6.
6	8
5. 山下・浜田(トレディア)	菊田・高木(スマッシュ) 8.



## テニスは楽しい!

加茂正子 (グリーンクラブ)

今思い出しても優勝出来たのが夢のような気がします。健康の為に、テニスを楽しやかなあーと、かるい気持ちで初めたのが、子供達に手がかからなくなった頃からで、まず試合に出る事など夢のようなもので、諫早の市庭協の試合に出て、初めてゲームの楽しさがわかり、それからグリーンクラブに入会させて頂き、いろんな方と練習が出来るようになり、とにかくテニスの練習をするのが楽しくて、朝起きて雨が降っていない時は朝の仕事をする時もさっさと手早くいろんな事をすませ、早くテニスの練習に出かけようと頑張ります。この二年ぐらいはテニスをする為に家事に精を出しているようなものです。

だけど、練習をしても練習をしても、なかなか自分の身につかないで落ち込んだりします。いろんな試合に出て負けてくやしがり、勝って飛び上がって喜んだりとにかく負けても勝ってもテニスは楽しいものです。試合で負けて帰る時は、よし、今度こそは自分の目標にしている所までは頑張ろうと、燃え、翌日から、又、練習に励みます。今回優勝出来たのは練習の時の力が十分発揮でき、それにここまで勝ち進んでこれるとは思ってもいなかったので、決勝戦では思いきり自分達2人の力を出せたからだと思えます。自分自身は練習をしても上達していないように感じるのですが試合に出てみて練習をしていると少なくとも目には見えない上達があるのだとつくづく感じました。これから先も上の人を目標に練習に励み、テニスをいつまでも楽しみたいと思います。

## — テニスの魅力 —

坂口明実 (グリーンクラブ)

額に流れ出る汗が心地良くスーと開放感が身を横切る。私がテニスに取り付かれて捨て置く術を見出せないでいるのはまだまだこんなものではないその魅力にある。

迷路に取り囲まれているかのようなセオリー。フラット、スライス、スピン等の球種、その打法、その他、サービス、スマッシュ、ボレー、又、リターン、ロブ、etc.

このとてつもなく大きなものを一片づつ「よいしょ、こらしょ」と克服してゆく。その快感がまたいい。が、なにせ相手は膨大、私のパートナーが良く言う言葉「あれも練習しなくちゃ、これも練習しなくちゃ、あ…眠る暇がない」まさにその通りである。今、ここに桑名杯を終えて、又、一つ課題が出来た。まだまだ未熟な私が色々な試合の中で、いかに自分の持ち得る数少ない技術を生かしきるか。あ…眠る暇がない。取り上げればきりが無いが、とにかく、結果は勝っても、負けても、それなりに様々なドラマが生まれ、それがプレーヤーを育てる。素晴らしいことではないか。

これからもパートナーにおしりを叩かれながら又、叩きながら二人で一人のダブルスを目指して励んでいこう。

## 桑名杯決算報告書

収入の部	参加費	168,000円
	協賛金	150,000円
	セットボール売却	8,200円
合 計		326,200円
支出の部	会場費	17,280円
	印刷費	8,980円
	ボール代	45,000円
	賞品代	17,600円
	事務費	51,058円
	大会役員招請費	48,000円
	接待費	13,717円
	その他(宣伝費)	9,690円
合 計		211,325円

326,200円 - 211,325円 = 114,875円 (次年度へ繰り越し)

## 日本女子テニス連盟への要望

(アンケート回答より一顧不同一)

- ☆審判講習会を是非開いてほしい。
- ☆日本女子テニス連盟の練習会を市内でもっとやってもらいたい。
- ☆練習会の回数を増して欲しい。
- ☆諫早での練習会が大変好評でした。年に何回か行って欲しいという声が多かったです。
- ☆諫早での練習会のようなものを年に2回でもして貰えたらと思います。
- ☆私達のクラブのように小さいところでは対外試合に恵まれませんので練習試合ができるチャンスを作って欲しい。

